

なんぶ 社会福祉だより

70

主な内容

- ☆令和3年度事業報告 ☆令和3年度決算報告、貸借対照表 ☆支え愛マップ
- ☆令和4年度事業計画、収支予算 ☆手話奉仕員養成講習会 ☆買物支援



令和4年度 地区別地域福祉委員連絡会開催！



令和4年度に地域福祉委員に就任された方 106名を対象に、社協の事業内容と地域福祉委員に期待される役割や活動内容について理解していただくことを目的として「地域福祉委員連絡会」をそれぞれの地区ごとに開催しました。

6月12日（日）、6月26日（日）、7月3日（日）と3日間で開催し 名の参加がありました。

地域福祉委員には、集落の福祉活動のリーダーとして、サロンへのお誘いやひとり暮らし高齢者等への懐中電灯の配布などを通じた訪問活動をとあして、集落内の見守りやご近所で困っておられる方などを早期発見していただく等の役割が期待されます。

グループに分れて交流・意見交換をする中で、それぞれの集落の状況や困りごとなどを知る機会にもなり、有意義な連絡会となりました。



令和3年度 事業報告

令和3年度は、前年から継続している新型コロナウイルス感染症が一向に収束しない状況で、社会経済状況と人々の生活が不安定の状態のまま社会福祉協議会の事業運営についても様々な影響があり、会議や事業の中止を余儀なくされた一年であった。

当初の事業計画においては、①法人組織体制の基盤整備 ②地域福祉推進計画に沿った取り組みの具体化 ③配食サービス事業のあり方の検討 ④災害や感染症に対応するボランティアセンター事業の推進強化 ⑤アウトリーチによる包括的支援体制の推進の5点を重点目標にかかげて取り組みを行うこととしていた。

法人組織体制については、新たな役員・評議員の体制を6月よりスタートさせた。行政や地域振興協議会等と関係者とが連携して推進していく予定だった「地域福祉推進計画」の具体的な取り組みについては、コロナ感染予防やワクチン接種等との関係でなかなか進めることにはならなかったが、「社会福祉充実計画」の変更について議論する中で、地域の課題に向き合い、課題解決に向かって住民参加の促進につながるような取り組み方法について関係者との協議を行った。

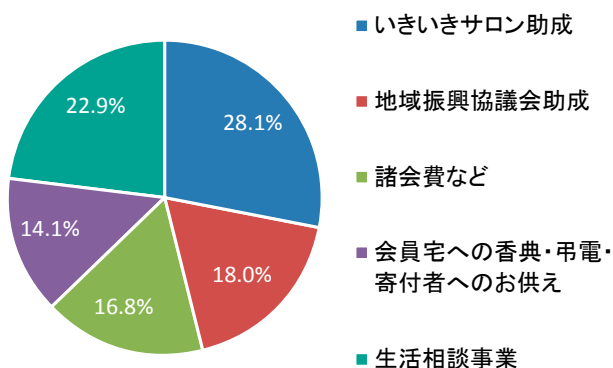
「見守り」を目的として行ってきた「配食サービス」は、HACCP（ハサップ）への対応として、調理形態を変更することや合併後にもずっと地域間格差を生じていたお弁当の提供回数統一はできたものの、調理ボランティア同士の「つながり」を継続的に確保していくことなどには十分対応することができなかった。

コロナ禍の中では、人が「集う」ことに制限があり、「配食サービス」や「いきいきサロン」の休止もやむをえず、それが長引くと地域での高齢者の孤立をもたらすことにもなりかねない。そのため地域福祉を進める上で最も大切な、人と人とのつながりが断たれないための新たな方策についても検討していく必要があり今後の課題でもあった。

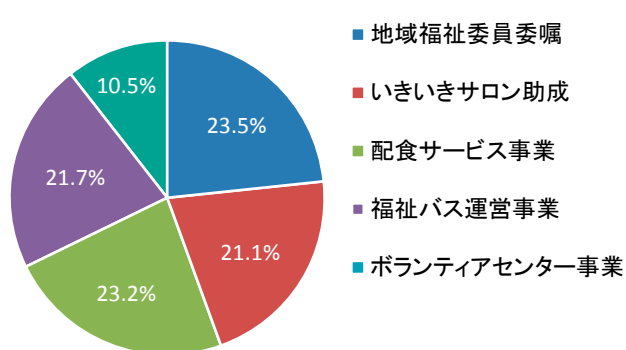
新型コロナウイルス感染症の影響は事業の中止等が求められる一方で、減収や休業、失業等により収入減でお困りの世帯への一時的な生活資金の貸付事務への対応など、生活に困窮している方々が地域で経済的に安心して暮らすための支援として、緊急小口資金特例貸付、総合支援資金貸付業務など、年間を通じての資金貸付業務も重要な取り組みであった。

皆様からの会費・寄付の使い道

会費



寄付



令和3年決算 資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,294,000	人 件 費 支 出	42,830,595
寄 付 金 収 入	2,125,420	事 業 費 支 出	3,397,089
補 助 金 収 入	39,204,919	事 務 費 支 出	11,625,110
受 託 金 収 入	16,796,300	そ の 他 の 支 出	2,220,952
事 業 収 入	1,332,269	共同募金助成金事業費	1,248,121
受取利息配分金収入	1,688	助 成 金 支 出	4,189,200
そ の 他 の 収 入	753,865	負 担 金 支 出	37,000
長期貸付金回収収入	215,398	固 定 資 産 取 得 支 出	168,300
		長 期 貸 付 金 支 出	205,398
収入合計	63,723,859	支出合計	65,921,765

収支不足額については、令和2年度末資金残高より補填

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・ 公益事業 特別会計 合算	流動資産	82,962,332	流動負債	8,026,077
	現金預金	82,856,375	事業未払金	3,145,534
	未収金	62,109	未払費用	675,813
	仮払金	43,848	職員預り金	1,113,880
			賞与引当金	3,090,850
			負債合計	8,026,077
	固定資産	65,773,200	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	63,773,200	国庫補助金等特別積立金	29,753,076
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	29,753,076
	建物	50,933,121		
	車両運搬具	8,199,055		
	器具及び備品	1,031,724		
	ソフトウェア	-		
長期貸付金	40,000	次期繰越活動増減差額	108,956,379	
長期前払費用	69,300	(うち当期活動増減差額)	-7,264,922	
		純資産の部合計	140,709,455	
資産の部合計	148,735,532	負債及び純資産の部合計	148,735,532	

令和4年度事業計画

重点目標

- ①住民との協働による課題発見機能の強化
- ②福祉活動促進のための協議の場づくりの支援
- ③福祉を担う人材の発掘と育成
- ④各種研修事業を含めた福祉学習の推進
- ⑤ボランティアセンターの機能強化

主な実施計画

1. 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取り組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2. 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) 福祉活動促進のための基盤強化と活動支援事業
- (3) いきいきサロン活動支援事業

3. 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 福祉資金貸付相談の実施
- (3) 日常生活自立支援事業の実施
- (4) 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- (5) 生活支援コーディネーター設置事業の実施

4. ボランティアセンター事業

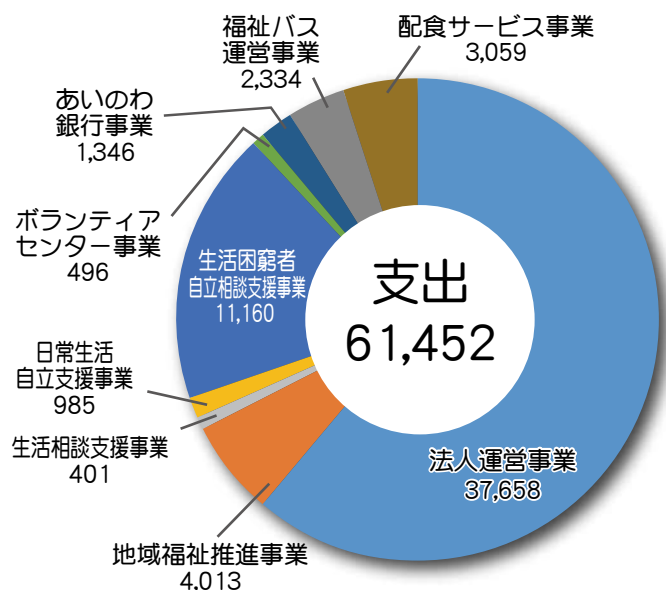
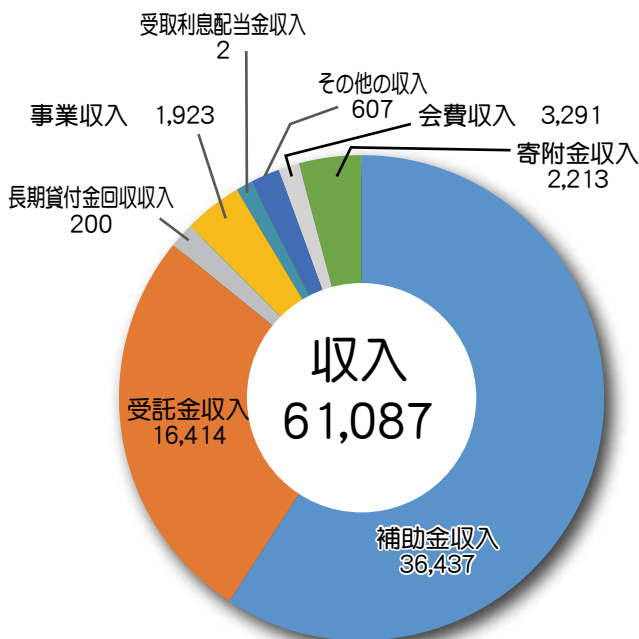
- (1) 福祉教育関連事業
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) あいのわ銀行の運営

5. 地域生活支援事業

- (1) 配食サービスの実施
- (2) 福祉バスの運営

令和4年度収支予算

(単位：千円)



収支不足額については、令和3年度末資金残高より補填

2022年度手話奉仕員養成講習会

【入門編】

受講者募集

きこえない・きこえにくい人のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成するため、講習会を開催します。

内 容

厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに準じて実施

(1) 実技 (2) 聴覚障害者福祉等に関する講義

対 象

きこえない・きこえにくい人等の福祉に理解と熱意を有する方（高校生以上）

とき・ところ・定員

会場	受講期間	会場	日時	定員
西部 会場	2022年9月15日 ～2023年2月16日 毎週木曜日（21回）	米子コンベンションセンター （米子市末広町294）他	19：00 ～20：30	20名

受 講 料

2,000円（テキスト代別途）

受講申込方法及び申込期限

◎受講申込方法

郵 送：手話奉仕員養成講習会受講申込書に記入し、申込書記載の住所宛に
「入門編受講申込書在中」と赤で記入の上、郵送してください。

F A X：F A X送信後、問い合わせ先へ確認の電話をしてください。

申込フォーム：当協会ホームページまたは、案内申込書記載のQRコードからアクセス可能。

◎受講申込締切

2022年8月31日（水）必着



受講申込先・問い合わせ先

〒682-0822 倉吉市葵町724-15

鳥取県中部聴覚障がい者センター 養成講習会（手話）事務局

TEL：0858（27）2355 / FAX：0858（27）2360

担当：伊藤・深田（application@torideaf.jp）

支え愛マップづくり



活動のご紹介

令和3年度の活動風景です。
 こちらの集落では地域支え愛会議を開催し避難所運営や
 車いす介助など実用的な内容で活発に意見が交わされました。



避難所運営について



車いす介助について

皆さんで集まって集落のことを話合う機会にご活用ください。
 普段からの関わり合いが災害時の助け合いに繋がります。

支え愛マップづくり等を支援する補助金制度があります(自治会向け)

はじめてマップづくりに取り組む

災害時要支援者対策促進事業

- 支え愛マップづくり
- 避難訓練の実施
- 研修会・講演会の開催 など



(補助金活用例)
 ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
 ・避難支援のためのリヤカー、担架など
 ・避難誘導のためのヘルメットなど

補助限度額
1住民組織あたり 5万円以内
 前年度までに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」、「災害時要支援者対策モデル事業」の補助金を受けたことのない住民組織が対象です。

マップの見直し・さらなる取り組み

災害時要支援者対策ステップアップ事業

- 住民による「地域支え愛会議」の立ち上げ・運営
 支え愛マップづくりで、明らかになった地域の課題を話し合う
- より実践的な訓練などの実施
 高齢の方、障がいのある方、子どもがいる世帯など、支援が必要となる世帯の特性に応じた避難訓練の実施

(補助金活用例)
 ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
 ・避難所の備品(ブルーシート、毛布など)
 ・避難支援のための発電機、投光器など

補助限度額
1住民組織あたり 10万円以内
 すでに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」の補助金を活用され、次なるステップを行う住民組織が対象です。

※災害時要支援者対策促進事業では南部町は7万5千円以内の補助が受けられます

社会福祉協議会がお手伝い致します。
 一緒に取り組みましょう！

どうぞお気軽にお問合せ下さい。

買物を通じた地域生活支援を始めます

南部町社会福祉協議会は、地域で福祉活動に関わっておられる方々と連携しながら、買物に困難を抱えておられる主に高齢者の方を対象に丸合の駐車場まで送迎し、周辺の店舗で買い物していただける「買物支援」に取り組むことと致しました。

ご利用は、登録制で運賃はかかりませんが、登録時に登録料をいただく予定としています。また、買物の頻度は各地区で週1回程度、社協のワゴン車を使用し、運転手1名、介助者1名の体制で運行させていただく予定となっております。



利用対象者について

- 独居の高齢者（65歳以上）または高齢者世帯他
- 最寄りの集合場所まで来ることができ、買い物時、一人で店舗内を移動し、会計も自分で行うことが可能な方
- 普段は他の手段で買い物をしているが、自分で直接商品を見て買い物をしたい方など

子ども服リユース

赤い羽根共同募金助成事業

譲渡会を開催しました！

令和4年6月2日（木）総合福祉センターしあわせにて「子ども服譲渡会」を実施しました。今回は46名の方が来場され、赤い羽根共同募金へのご協力も頂きました。



保管場所が手狭である為、今年度より大型の子ども用品は**チャイルドシート、ベビーカー限定**とさせて頂いております。今回、良品のお持ち込みが多くほとんどの大型用品が即日のお譲りとなりました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。



次回の譲渡会は令和4年11月頃を予定しています。詳細が決まりましたらフェイスブックやチラシにてお知らせします。



ありがとうございました



(令和4年5月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
倉 鋪 千鶴子	西	博人	金一封
田 中 由 美	田住	小林 一郎	金一封
三 浦 敏 人	能竹	重子	金一封
栞 名 吉美子	坂根	範夫	金一封
山 根 和 子	天萬4番組	克仁	金一封
秦 登志郎	上阿賀	雅一	金一封
白 井 勝 昭	下阿賀	喜美江	金一封
森 脇 誠	天萬4番組	静枝	金一封
景 山 正 昭	法勝寺7区	嘉千文	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
野 口 洋 一	鶴田	幸雄	金一封
田 邊 誠 司	倭	喜	金一封
生 田 俊 作	東西町4区	芳子	金一封
遠 藤 三 留	早田	シゲコ	金一封
赤 井 洋 氏	浅井	多佳美	金一封
田 中 勉	原	眞智子	金一封
渡 邊 宏 子	境	義明	金一封
影 山 勇 雄	奥絹屋	節郎	金一封
板 持 俊 博	浅井	純子	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

お詫びと訂正

令和4年5月発行 なんぶ社会福祉だより NO.69 において誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

P2 お問い合わせ先：南部町社会福祉協議会 66-2990 ⇒ 66-2900

P5 地域福祉委員名簿内 原区 坪内雄三 ⇒ 原区 坪内勇三

編集後記

最近、同級生と会話を交わしていると必ずと言っていいほど、どこかで体調の話、健康の話になる。血圧、コレステロール、何処かのポリープ、前立腺、果ては人の名前がでてこないなど延々と続く。そしてそれらの予防・改善のためにどここのサプリを試しているが、効果が有るのか無いのか、ただやめると更に悪化するのでは？とやめられずメーカーの罠にまんまとはまったのではないかなどとぼやいている。

今年の2月に人間ドッグを受診した。結果悪玉コレステロール値が高くなっており対応として、適度な運動と間食などをしないよう食生活の改善が必要ではとのこと、3月に再受診することとなった。間食はしなかったのだが適度な運動は行わなかったこともあり残念ながら一カ月では数値の改善が見られなかった。今のところ何も支障がないのであまり気にもならないのだが、動脈硬化から心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすことがあるそう症状が表に出たときは時すでに遅しということになりそうだ。人生一〇〇年時代と言われるようにになりましたが、男の健康寿命は七十二歳、少なくともそこだけは無事にやり過ぎしたいと思う毎日です。

終わりに、この広報が発行される頃にはウクライナでの悲惨な戦争が終わっていることを願うばかりです。

(T・I)